

平成28年7～9月期結果(確報)の概要

I 今期の概況

1 今期の個人企業（個人経営の事業所）の業況判断D I

- ① 今期の業況判断
今期（平成28年7～9月期）の業況判断D Iは (-)63.4 で、前期（平成28年4～6月期）(-61.9)に比べ、1.5ポイントの悪化。
- ② 来期の見通し
来期（平成28年10～12月期）の業況見通しD Iは (-)58.8 で、今期の業況判断(-63.4)に比べ、4.6ポイントの改善の見通し。

図1 業況判断D Iの推移 — 調査産業計 —

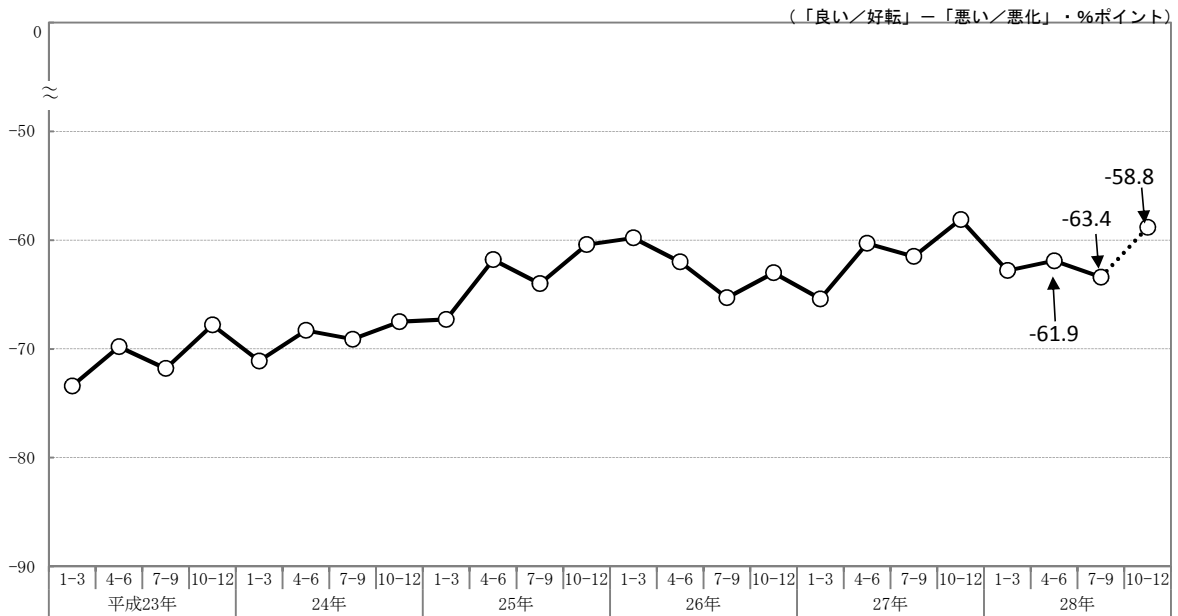


表1 業況判断の割合 — 調査産業計 —

| | 平成27年 | | 28年 | | | |
|------------------|-------|---------|-------|-------|-------|----------------|
| | 7～9月期 | 10～12月期 | 1～3月期 | 4～6月期 | 7～9月期 | 10～12月期 見通し |
| 今期の業況, 来期の業況 (%) | | | | | | |
| 良い/好転 | 4.0 | 4.2 | 3.6 | 3.4 | 3.1 | 2.9 |
| 普通/不変 | 30.4 | 33.5 | 30.1 | 31.3 | 30.4 | 35.4 |
| 悪い/悪化 | 65.5 | 62.3 | 66.4 | 65.3 | 66.5 | 61.7 |
| D I | -61.5 | -58.1 | -62.8 | -61.9 | -63.4 | -58.8 |

| 参考 | 調査産業計 | | | | | |
|----|-----------|-----------|---------------|-----------|-----------|---------------|
| | 日銀短観(大企業) | 日銀短観(全企業) | 中小企業景況調査(全企業) | 日銀短観(大企業) | 日銀短観(全企業) | 中小企業景況調査(全企業) |
| | 19 | 18 | 13 | 12 | 12 | 11 |
| | -24.7 | -22.9 | -29.0 | -27.0 | -27.0 | -16.3 |

(注) 「中小企業景況調査」：(独)中小企業基盤整備機構作成

(注) 今期の調査票回収時期は、平成28年10月上旬から中旬までである。

2 今期の売上高及び営業利益

| | |
|---------------------|----------------------------|
| ① 今期の1事業所当たりの売上高は、 | |
| □「製造業」は | 209万2000円で、前年同期に比べ、9.4%の減少 |
| □「卸売業、小売業」は | 363万8000円で、前年同期に比べ、0.8%の増加 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 210万7000円で、前年同期に比べ、4.4%の減少 |
| □「サービス業」は | 113万9000円で、前年同期に比べ、6.3%の減少 |
| ② 今期の1事業所当たりの営業利益は、 | |
| □「製造業」は | 58万円で、前年同期に比べ、14.1%の減少 |
| □「卸売業、小売業」は | 38万8000円で、前年同期に比べ、6.0%の増加 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 41万8000円で、前年同期に比べ、13.6%の増加 |
| □「サービス業」は | 42万7000円で、前年同期に比べ、4.3%の減少 |

※前年同期(平成27年7～9月期)

表2 産業別売上高及び営業利益

| | | 製造業 | | 卸売業、小売業 | | 宿泊業、飲食サービス業 | | サービス業 | | | |
|------------|--------------|---------|---------|---------|-------|-------------|-------|-------|-------|------|------|
| | | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | 売上高 | 営業利益 | | |
| 実数 (千円) | 平成26年 | 7～9月期 | 2,314 | 626 | 4,146 | 370 | 2,168 | 420 | 1,230 | 433 | |
| | | 10～12月期 | 2,444 | 658 | 4,384 | 511 | 2,150 | 422 | 1,301 | 480 | |
| | 平成27年 | 1～3月期 | 2,182 | 595 | 3,601 | 394 | 2,042 | 373 | 1,227 | 395 | |
| | | 4～6月期 | 2,466 | 673 | 3,729 | 428 | 2,148 | 365 | 1,327 | 469 | |
| | 平成28年 | 7～9月期 | 2,310 | 675 | 3,609 | 366 | 2,203 | 368 | 1,215 | 446 | |
| | | 10～12月期 | 2,379 | 644 | 4,065 | 484 | 2,312 | 470 | 1,285 | 471 | |
| | 前年同期比 (%) | 平成26年 | 7～9月期 | 9.2 | -3.8 | 4.5 | -17.0 | 0.5 | -3.0 | -3.5 | -0.9 |
| | | | 10～12月期 | -1.2 | -2.7 | 0.2 | 15.9 | -4.4 | 3.9 | 2.1 | 7.1 |
| | 平成27年 | 1～3月期 | -4.8 | -9.0 | -10.1 | -14.9 | 1.2 | 9.4 | 11.3 | 12.2 | |
| | | 4～6月期 | 15.7 | 9.8 | -6.3 | -0.7 | -0.3 | -9.2 | 9.7 | 2.9 | |
| | 平成28年 | 7～9月期 | -0.2 | 7.8 | -13.0 | -1.1 | 1.6 | -12.4 | -1.2 | 3.0 | |
| | | 10～12月期 | -2.7 | -2.1 | -7.3 | -5.3 | 7.5 | 11.4 | -1.2 | -1.9 | |
| 平成28年 | 1～3月期 | 5.1 | 15.1 | -1.0 | -10.4 | 10.3 | 12.1 | -7.6 | -4.1 | | |
| | 4～6月期 | -12.2 | -8.9 | -1.9 | -22.9 | -3.0 | 0.3 | -12.9 | -10.2 | | |
| | 7～9月期 | -9.4 | -14.1 | 0.8 | 6.0 | -4.4 | 13.6 | -6.3 | -4.3 | | |

3 今期の設備投資額

| | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| ① 今期の1事業所当たりの設備投資額は、 | |
| □「製造業」は | 16万9000円で、前年同期(13万5000円)に比べ、増加 |
| □「卸売業、小売業」は | 5万6000円で、前年同期(8万6000円)に比べ、減少 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 17万7000円で、前年同期(15万9000円)に比べ、増加 |
| □「サービス業」は | 3万6000円で、前年同期(5万7000円)に比べ、減少 |
| ② 今期の1事業所当たりの設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は、 | |
| □「製造業」は | 8.1%で、前年同期(5.8%)に比べ、2.3ポイントの上昇 |
| □「卸売業、小売業」は | 1.5%で、前年同期(2.4%)に比べ、0.9ポイントの低下 |
| □「宿泊業、飲食サービス業」は | 8.4%で、前年同期(7.2%)に比べ、1.2ポイントの上昇 |
| □「サービス業」は | 3.2%で、前年同期(4.7%)に比べ、1.5ポイントの低下 |

※前年同期(平成27年7～9月期)

表3 産業別設備投資額及び設備投資率

| | | 製造業 | | 卸売業、小売業 | | 宿泊業、飲食サービス業 | | サービス業 | |
|-------|---------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|---------------|--------------|
| | | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) | 設備投資額 (千円) | 設備投資率 (%) |
| 平成26年 | 7～9月期 | 104 | 4.5 | 85 | 2.1 | 77 | 3.6 | 40 | 3.3 |
| | 10～12月期 | 78 | 3.2 | 89 | 2.0 | 118 | 5.5 | 43 | 3.3 |
| 平成27年 | 1～3月期 | 111 | 5.1 | 109 | 3.0 | 47 | 2.3 | 37 | 3.0 |
| | 4～6月期 | 148 | 6.0 | 79 | 2.1 | 82 | 3.8 | 47 | 3.5 |
| 平成28年 | 7～9月期 | 135 | 5.8 | 86 | 2.4 | 159 | 7.2 | 57 | 4.7 |
| | 10～12月期 | 93 | 3.9 | 81 | 2.0 | 62 | 2.7 | 71 | 5.5 |
| 平成28年 | 1～3月期 | 70 | 3.1 | 53 | 1.5 | 55 | 2.4 | 72 | 6.3 |
| | 4～6月期 | 53 | 2.4 | 74 | 2.0 | 66 | 3.2 | 50 | 4.3 |
| | 7～9月期 | 169 | 8.1 | 56 | 1.5 | 177 | 8.4 | 36 | 3.2 |

Ⅱ 業況判断

1 調査産業計

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断D Iは（-）63.4で、前期（平成28年4～6月期）（-61.9）に比べ、1.5ポイント悪化した。

イ 前期と比較した業況判断D Iは（-）50.9で、前期（-46.1）に比べ、4.8ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断D Iは（-）55.6で、前期（-56.0）に比べ、0.4ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しD Iは（-）58.8で、今期の業況判断（-63.4）に比べ、4.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図2 業況判断D Iの推移 —調査産業計—

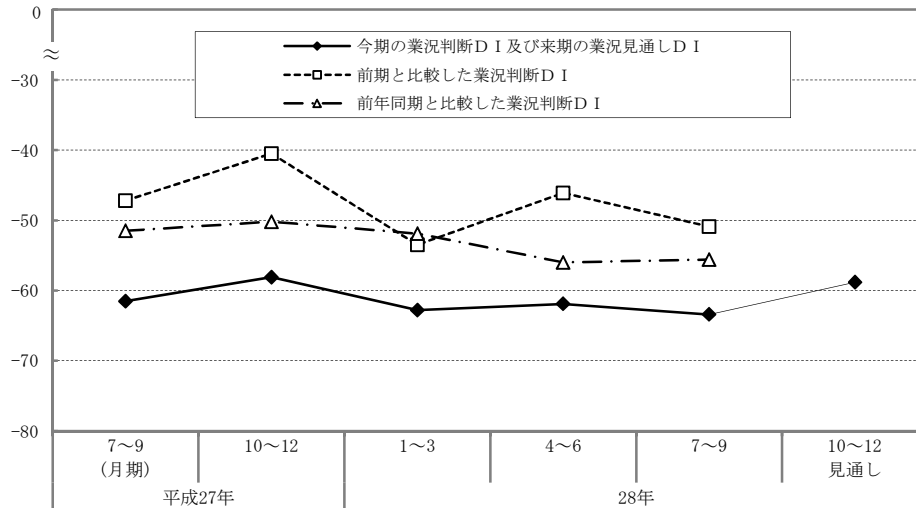
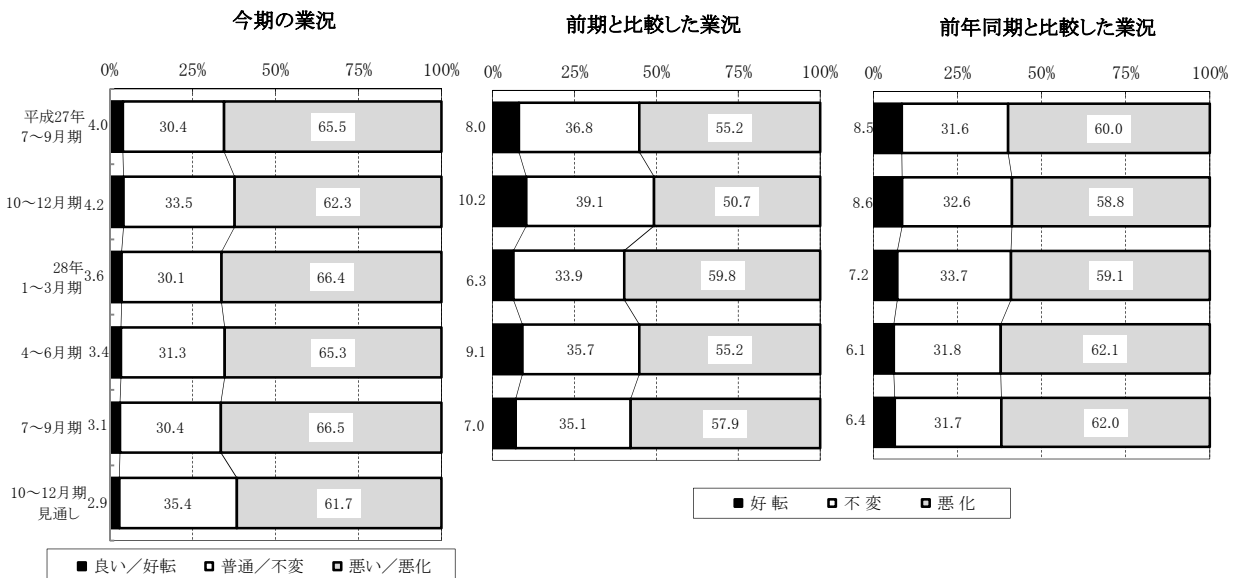


図3 業況判断の割合 —調査産業計—



(2) 売上の状況

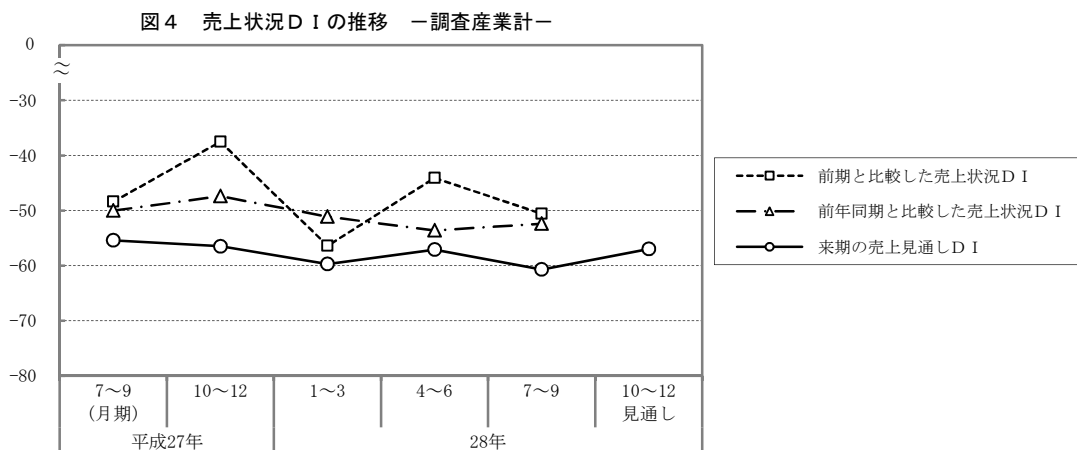
① 今期の売上の状況

ア 前期と比較した売上状況DIは (-)50.6 で、前期 (-44.1) に比べ、6.5 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは (-)52.4 で、前期 (-53.6) に比べ、1.2 ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは (-)57.0 で、前期における今期の売上見通し (-60.7) に比べ、3.7 ポイントの改善の見通しとなっている。



(3) 営業利益の状況

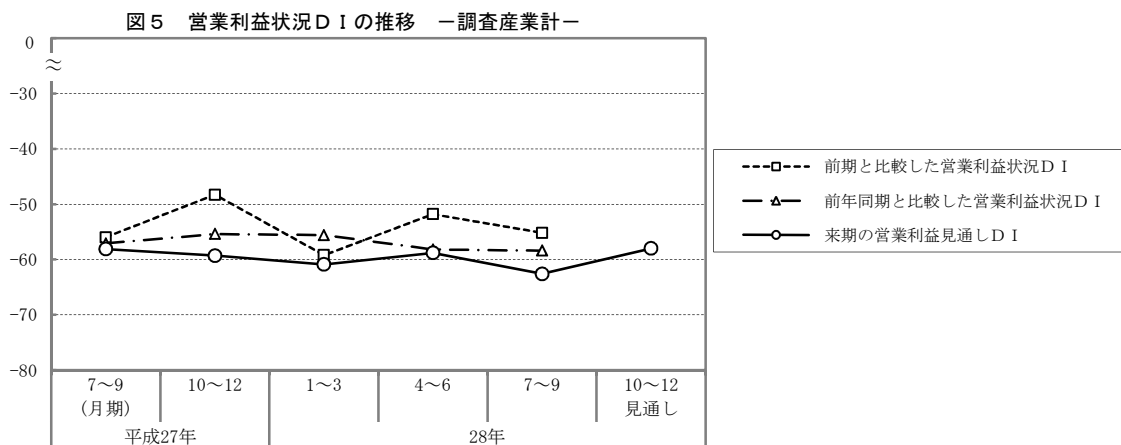
① 今期の営業利益の状況

ア 前期と比較した営業利益状況DIは (-)55.2 で、前期 (-51.8) に比べ、3.4 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは (-)58.4 で、前期 (-58.2) に比べ、0.2 ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

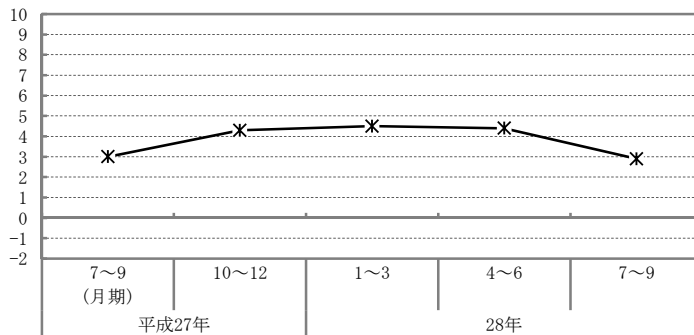
来期の営業利益見通しDIは (-)58.0 で、前期における今期の営業利益見通し (-62.6) に比べ、4.6 ポイントの改善の見通しとなっている。



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)2.9 で、前期 (+4.4) に比べ、1.5 ポイント「過剰」が縮小した。

図6 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -調査産業計-

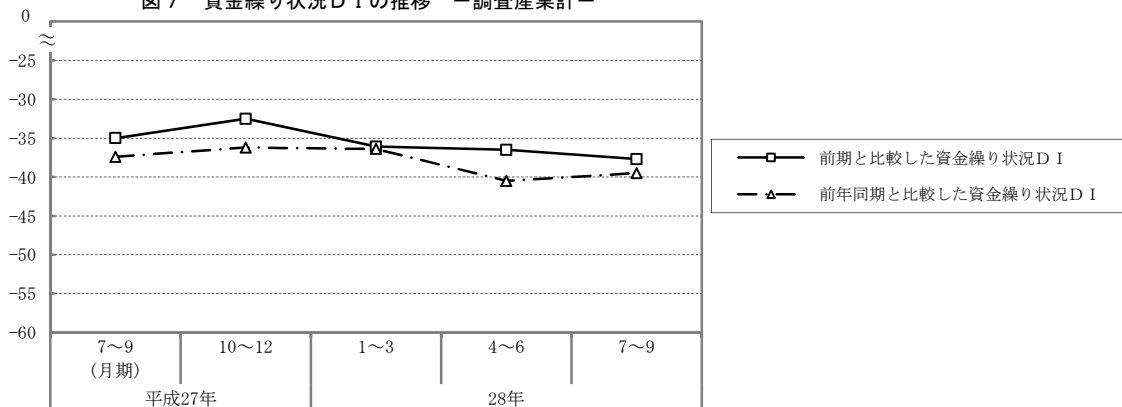


(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.7 で、前期 (-36.5) に比べ、1.2 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.5 で、前期 (-40.5) に比べ、1.0 ポイント改善した。

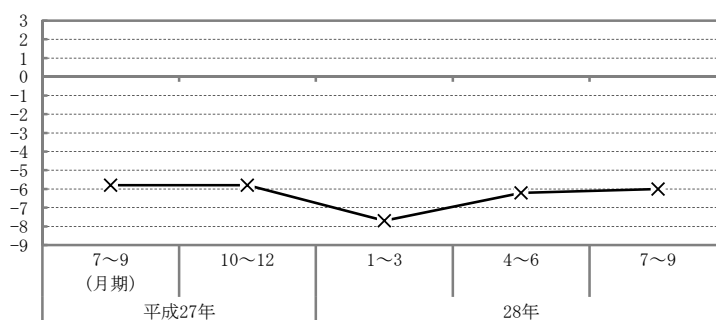
図7 資金繰り状況DIの推移 -調査産業計-



(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.0 で、前期 (-6.2) に比べ、0.2 ポイント「不足」が縮小した。

図8 雇用状況DIの推移 -調査産業計-



2 製造業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)59.5で、前期（平成28年4～6月期）(-54.2)に比べ、5.3ポイント悪化した。

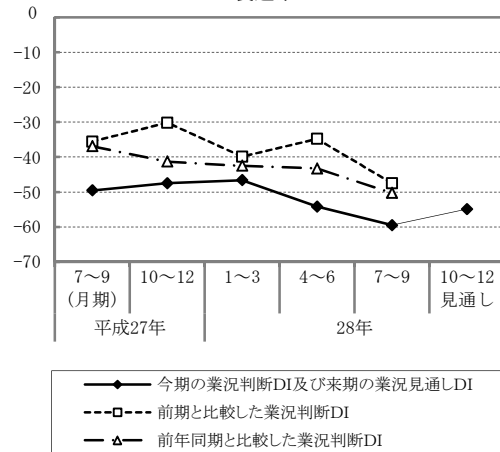
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)47.5で、前期(-34.8)に比べ、12.7ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)50.3で、前期(-43.3)に比べ、7.0ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)54.9で、今期の業況判断(-59.5)から、4.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図9 業況判断DIの推移
—製造業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

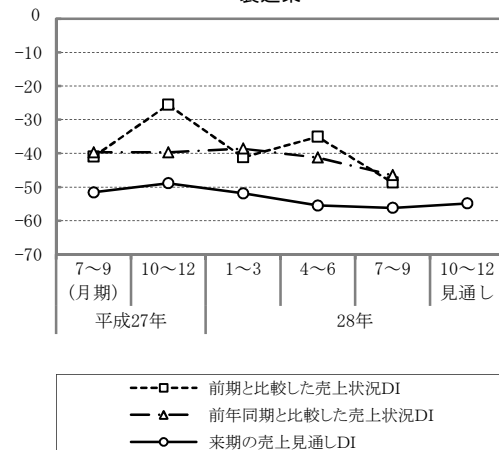
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)48.7で、前期(-35.1)に比べ、13.6ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)46.5で、前期(-41.3)に比べ、5.2ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)54.9で、前期における今期の売上見通し(-56.2)から、1.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図10 売上状況DIの推移
—製造業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

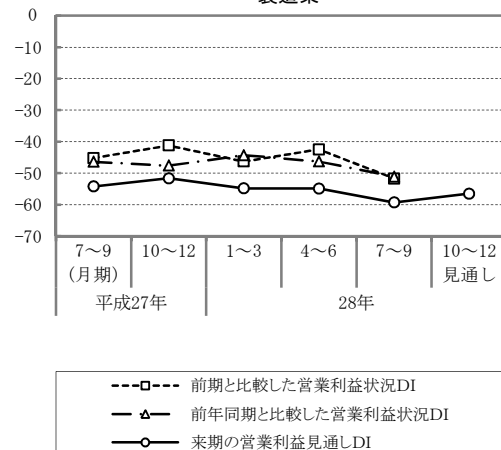
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)51.7で、前期(-42.5)に比べ、9.2ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)51.1で、前期(-46.3)に比べ、4.8ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)56.5で、前期における今期の営業利益見通し(-59.3)に比べ、2.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図11 営業利益状況DIの推移
—製造業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.0 で、前期 (+5.7) に比べ、2.7 ポイントト「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)32.2 で、前期 (-28.6) に比べ、3.6 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)34.3 で、前期 (-33.5) に比べ、0.8 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)3.6 で、前期 (-5.2) に比べ、1.6 ポイント「不足」が縮小した。

図12 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -製造業-

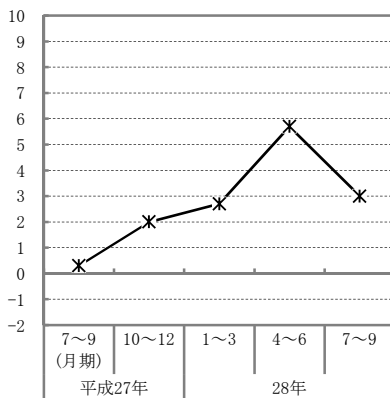


図13 資金繰り状況DIの推移 -製造業-

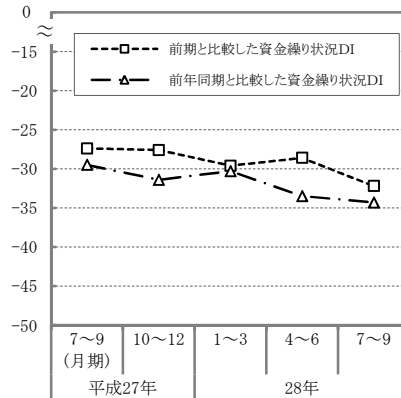
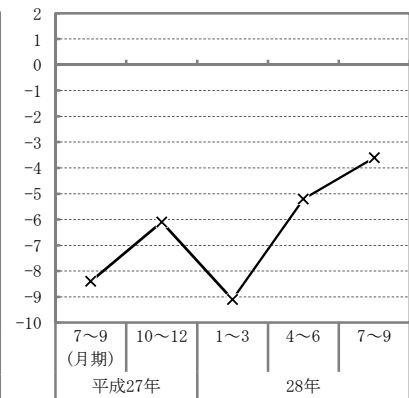


図14 雇用状況DIの推移 -製造業-



3 卸売業、小売業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは (-)64.8 で、前期（平成28年4～6月期） (-65.7) に比べ、0.9 ポイント改善した。

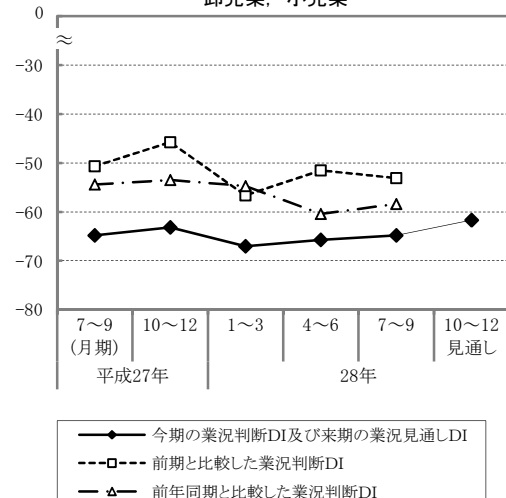
イ 前期と比較した業況判断DIは (-)53.1 で、前期 (-51.5) に比べ、1.6 ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは (-)58.4 で、前期 (-60.4) に比べ、2.0 ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは (-)61.7 で、今期の業況判断 (-64.8) に比べ、3.1 ポイントの改善の見通しとなっている。

図15 業況判断DIの推移 -卸売業、小売業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

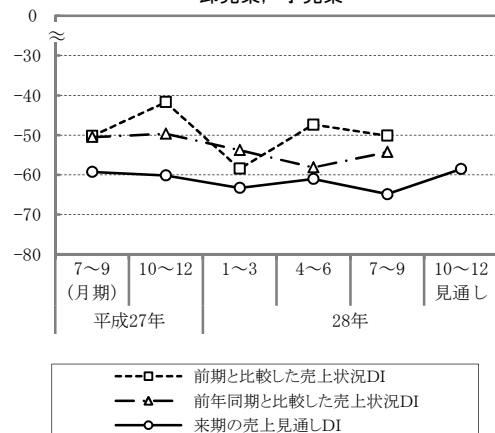
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)50.2で、前期(-47.4)に比べ、2.8ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)54.3で、前期(-58.2)に比べ、3.9ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.6で、前期における今期の売上見通し(-64.9)に比べ、6.3ポイントの改善の見通しとなっている。

図16 売上状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

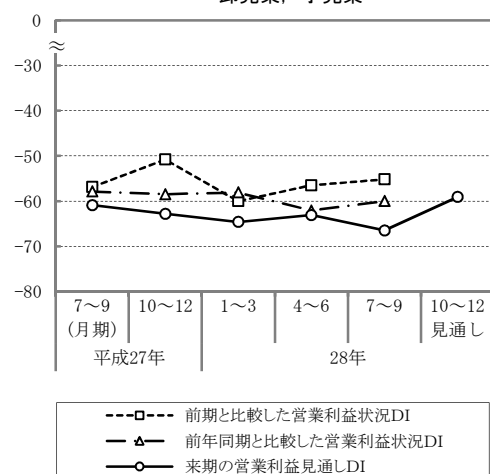
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)55.2で、前期(-56.5)に比べ、1.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)60.0で、前期(-62.1)に比べ、2.1ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.1で、前期における今期の営業利益見通し(-66.5)に比べ、7.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図17 営業利益状況DIの推移
—卸売業、小売業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(+)4.5で、前期(+6.5)に比べ、2.0ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)38.6で、前期(-39.5)に比べ、0.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.6で、前期(-43.1)に比べ、3.5ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)5.5で、前期(-5.6)に比べ、0.1ポイント「不足」が縮小した。

図18 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移 -卸売業、小売業-

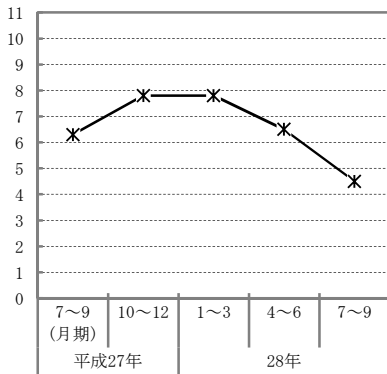


図19 資金繰り状況DIの推移 -卸売業、小売業-

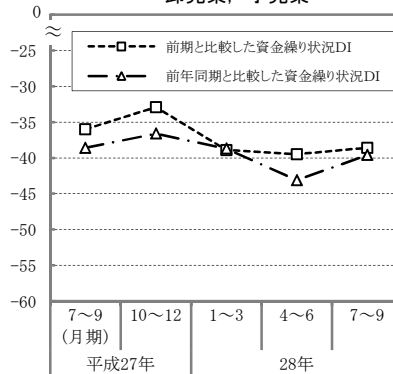
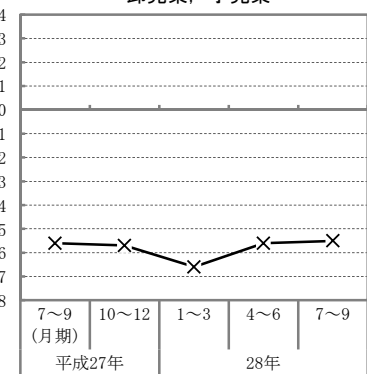


図20 雇用状況DIの推移 -卸売業、小売業-



4 宿泊業、飲食サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)59.2で、前期（平成28年4～6月期）(-60.1)に比べ、0.9ポイント改善した。

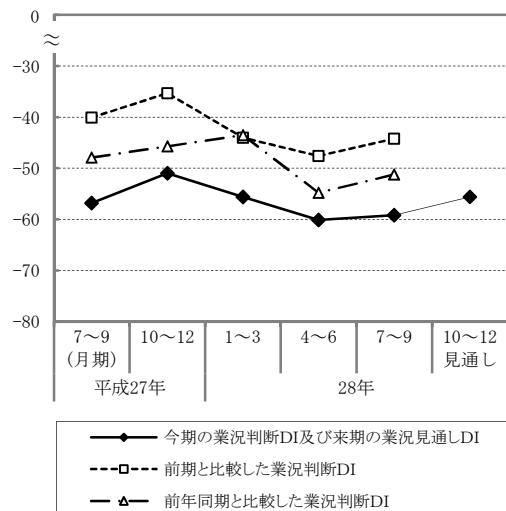
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)44.2で、前期(-47.6)に比べ、3.4ポイント改善した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)51.2で、前期(-54.8)に比べ、3.6ポイント改善した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)55.6で、今期の業況判断(-59.2)に比べ、3.6ポイントの改善の見通しとなっている。

図21 業況判断DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

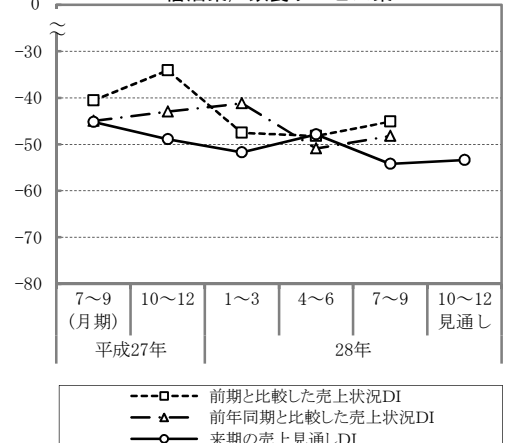
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)45.1で、前期(-48.2)に比べ、3.1ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)48.2で、前期(-50.9)に比べ、2.7ポイント改善した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)53.4で、前期における今期の売上見通し(-54.2)に比べ、0.8ポイントの改善の見通しとなっている。

図22 売上状況DIの推移 -宿泊業、飲食サービス業-



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

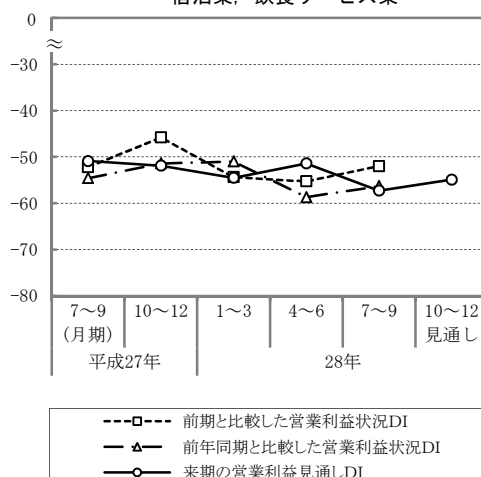
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)52.0で、前期(-55.3)に比べ、3.3ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)56.3で、前期(-58.7)に比べ、2.4ポイント改善した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)54.9で、前期における今期の営業利益見通し(-57.3)に比べ、2.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図23 営業利益状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは(-)0.6で、前期(+1.3)に比べ、1.9ポイント「過剰」が縮小した。

(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは(-)39.3で、前期(-40.2)に比べ、0.9ポイント改善した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは(-)42.6で、前期(-43.3)に比べ、0.7ポイント改善した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは(-)7.1で、前期(-10.0)に比べ、2.9ポイント「不足」が縮小した。

図24 製品・商品・原材料の在庫状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

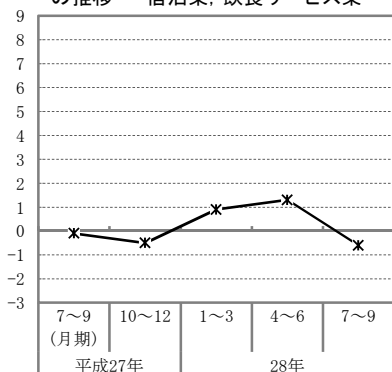


図25 資金繰り状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—

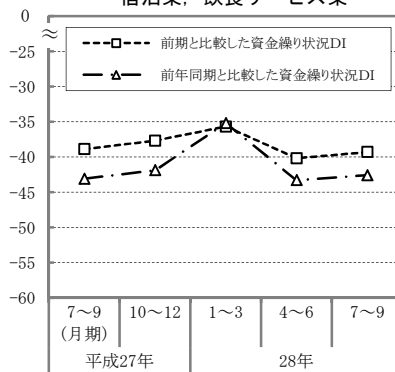
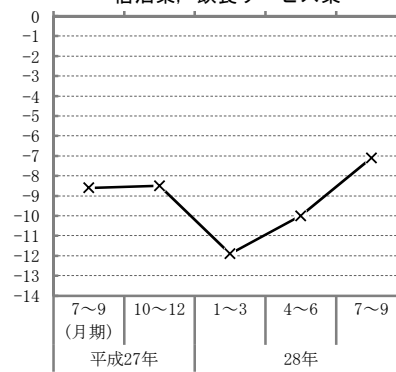


図26 雇用状況DIの推移
—宿泊業、飲食サービス業—



5 サービス業

(1) 業況

① 今期の業況

ア 今期（平成28年7～9月期）の業況判断DIは(-)66.5で、前期（平成28年4～6月期）(-60.8)に比べ、5.7ポイント悪化した。

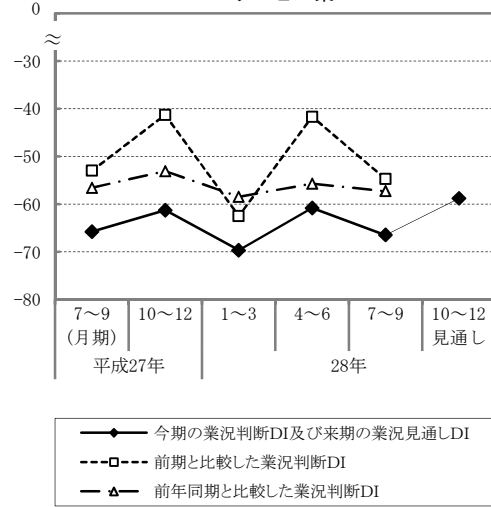
イ 前期と比較した業況判断DIは(-)54.7で、前期(-41.7)に比べ、13.0ポイント悪化した。

ウ 前年同期（平成27年7～9月期）と比較した業況判断DIは(-)57.3で、前期(-55.7)に比べ、1.6ポイント悪化した。

② 来期の業況見通し

来期（平成28年10～12月期）の業況見通しDIは(-)58.8で、今期の業況判断(-66.5)に比べ、7.7ポイントの改善の見通しとなっている。

図27 業況判断DIの推移
—サービス業—



(2) 売上の状況

① 今期の売上の状況

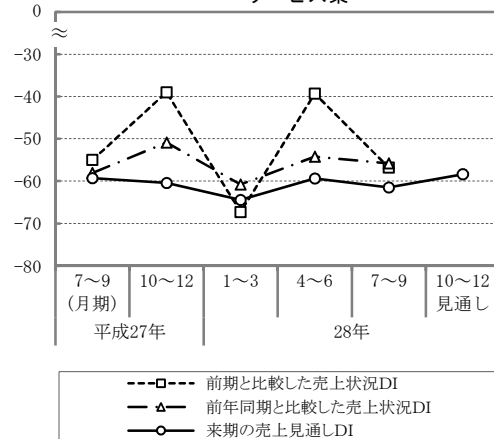
ア 前期と比較した売上状況DIは(-)56.8で、前期(-39.3)に比べ、17.5ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した売上状況DIは(-)55.8で、前期(-54.2)に比べ、1.6ポイント悪化した。

② 来期の売上見通し

来期の売上見通しDIは(-)58.4で、前期における今期の売上見通し(-61.5)に比べ、3.1ポイントの改善の見通しとなっている。

図28 売上状況DIの推移
—サービス業—



(3) 営業利益の状況

① 今期の営業利益の状況

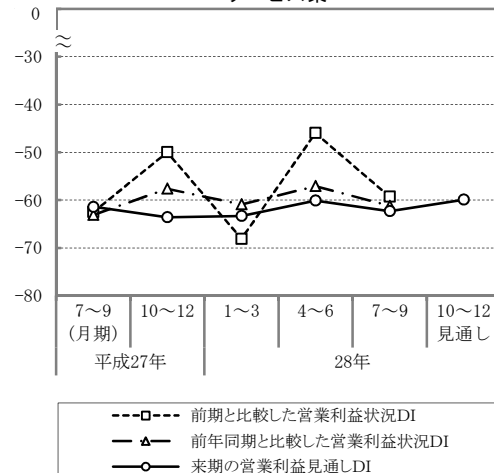
ア 前期と比較した営業利益状況DIは(-)59.3で、前期(-46.0)に比べ、13.3ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した営業利益状況DIは(-)61.2で、前期(-57.1)に比べ、4.1ポイント悪化した。

② 来期の営業利益見通し

来期の営業利益見通しDIは(-)59.9で、前期における今期の営業利益見通し(-62.3)に比べ、2.4ポイントの改善の見通しとなっている。

図29 営業利益状況DIの推移
—サービス業—



(4) 製品・商品・原材料の在庫状況

今期の製品・商品・原材料の在庫状況DIは (+)3.3 で、前期 (+3.4) に比べ、0.1 ポイント「過剰」が縮小した。

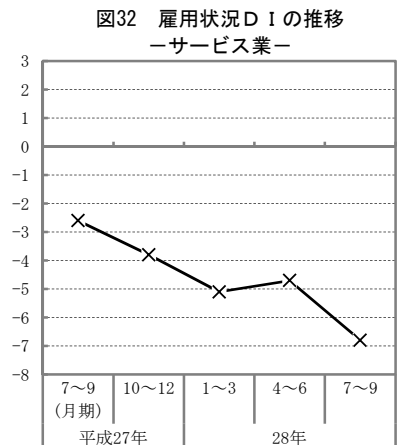
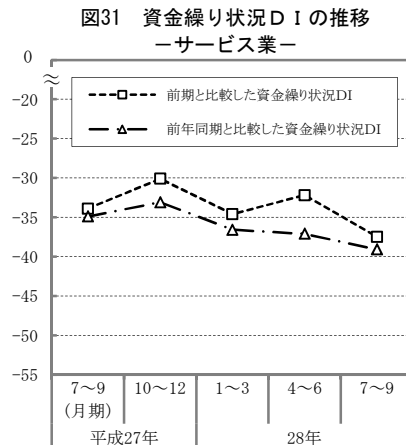
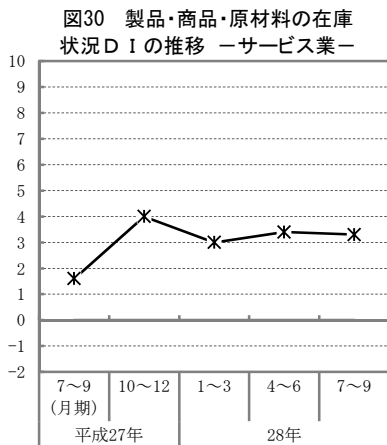
(5) 資金繰りの状況

ア 前期と比較した資金繰り状況DIは (-)37.5 で、前期 (-32.2) に比べ、5.3 ポイント悪化した。

イ 前年同期と比較した資金繰り状況DIは (-)39.1 で、前期 (-37.1) に比べ、2.0 ポイント悪化した。

(6) 雇用状況

今期の雇用状況DIは (-)6.8 で、前期 (-4.7) に比べ、2.1 ポイント「不足」が拡大した。



Ⅲ 営業収支

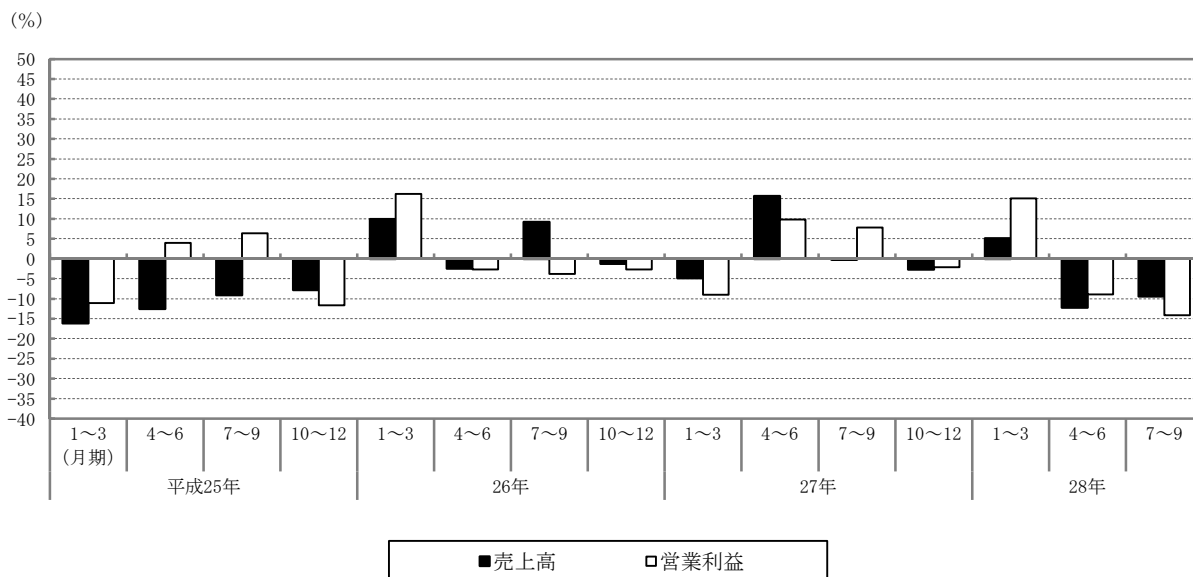
1 製造業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は209万2000円で、これに対する費用は売上原価が66万2000円、営業費が85万1000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は58万円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)9.4%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(-)14.1%で、2期連続で減少した。

図33 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 — 製造業 —

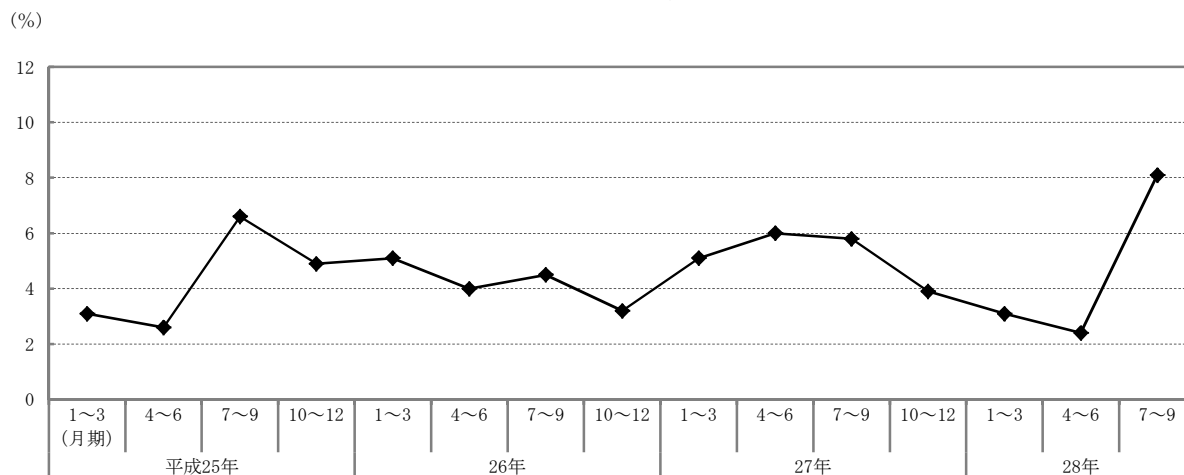


(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は16万9000円で、前年同期(13万5000円)を上回った。

また、設備投資率(売上高に対する設備投資額の割合)は8.1%で、前年同期(5.8%)を2.3ポイント上回った。

図34 設備投資率の推移 — 製造業 —



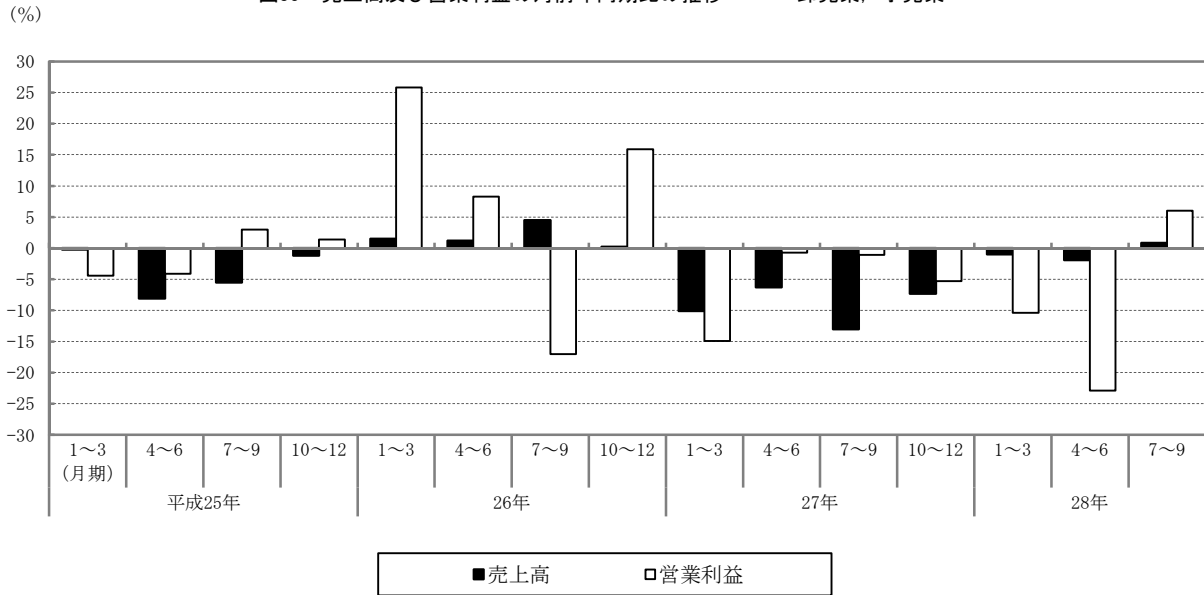
2 卸売業、小売業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は363万8000円で、これに対する費用は売上原価が249万4000円、営業費が75万7000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は38万8000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(+) 0.8% で、7期ぶりに増加した。また、営業利益は(+) 6.0% で、7期ぶりに増加した。

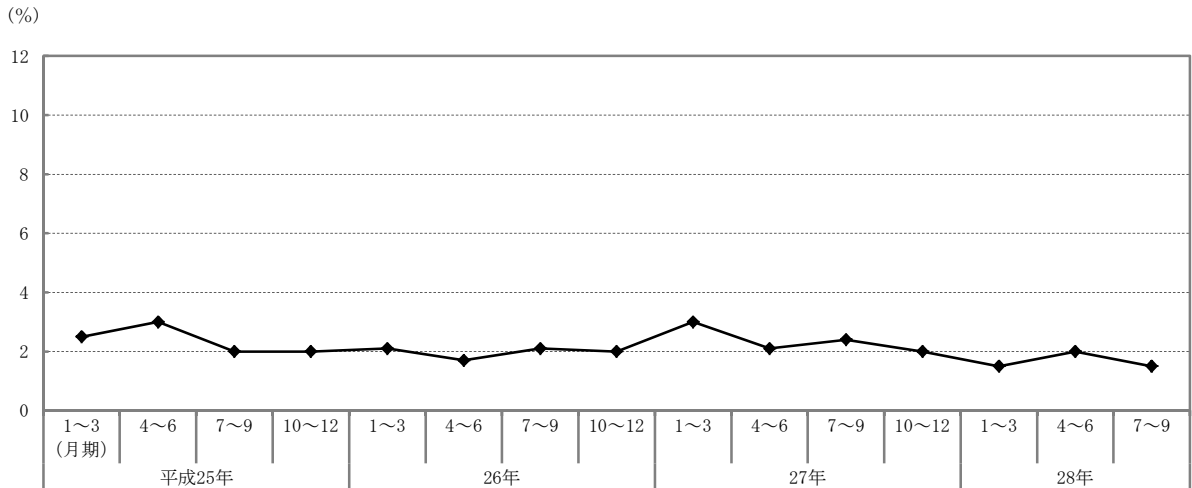
図35 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 ー卸売業、小売業ー



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は5万6000円で、前年同期(8万6000円)を下回った。また、設備投資率は 1.5% で、前年同期(2.4%)を 0.9 ポイント下回った。

図36 設備投資率の推移 ー卸売業、小売業ー

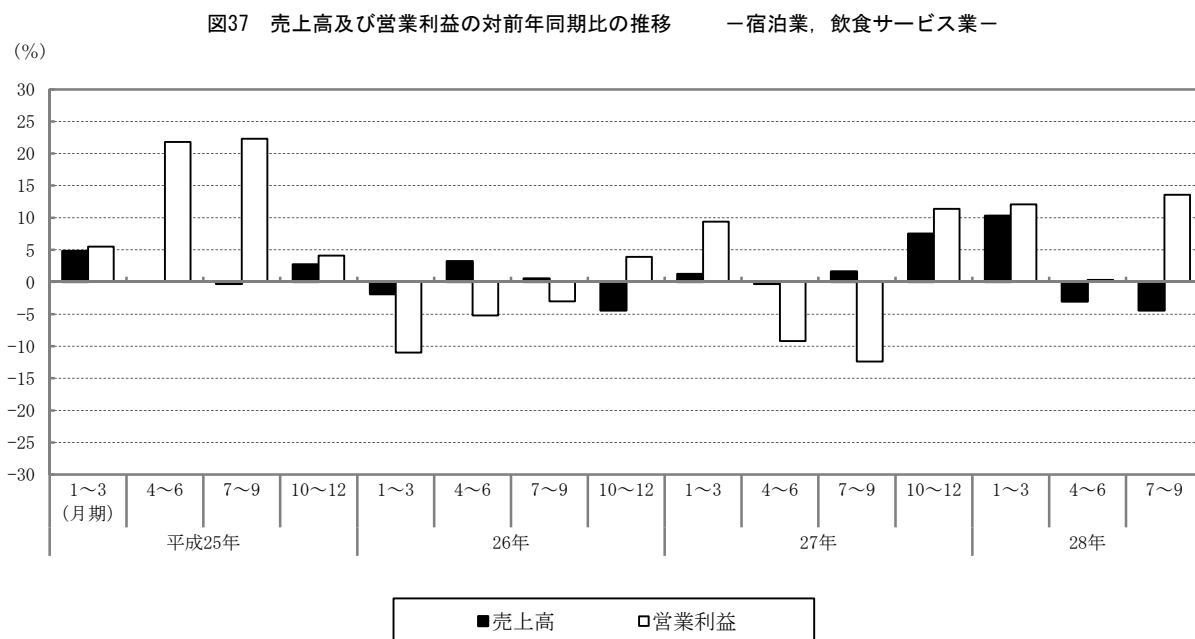


3 宿泊業，飲食サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は210万7000円で、これに対する費用は売上原価が87万9000円、営業費が81万円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は41万8000円となった。

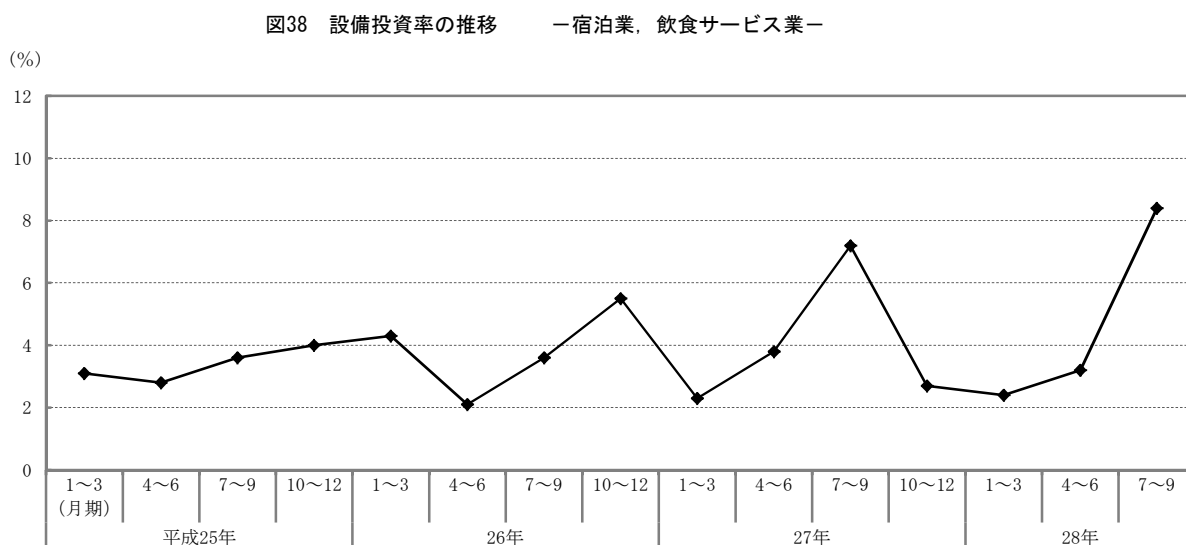
対前年同期比をみると、売上高は(-)4.4%で、2期連続で減少した。また、営業利益は(+13.6%で、4期連続で増加した。



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は17万7000円で、前年同期(15万9000円)を上回った。

また、設備投資率は8.4%で、前年同期(7.2%)を1.2ポイント上回った。



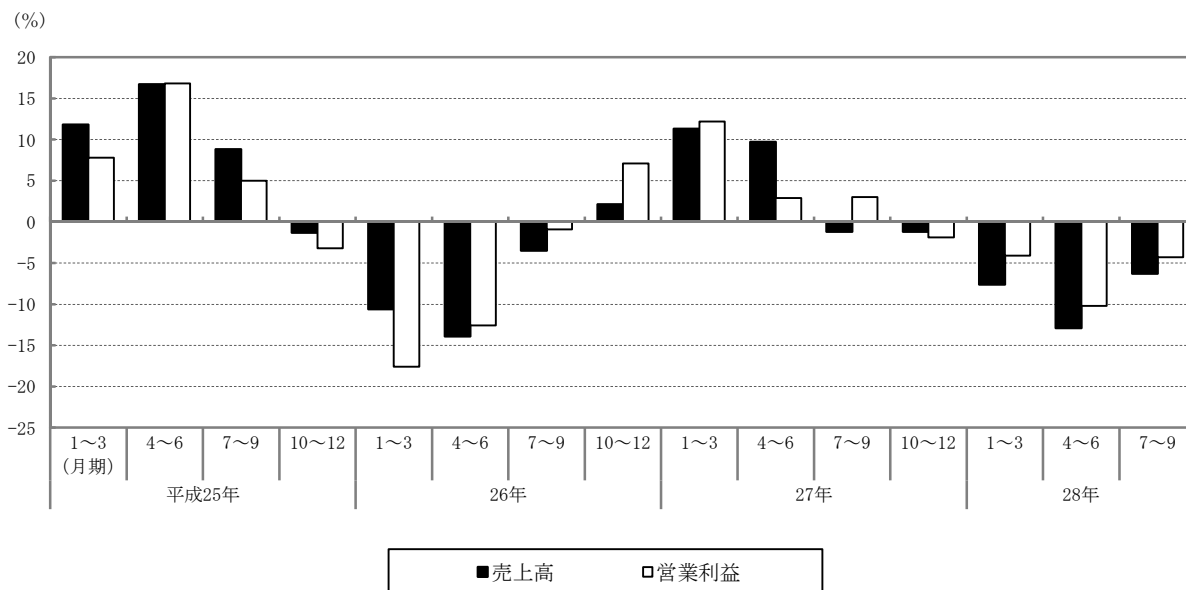
4 サービス業

(1) 売上高及び営業利益

今期の1事業所当たりの売上高は113万9000円で、これに対する費用は売上原価が17万7000円、営業費が53万5000円となり、売上高からこれらの費用を差し引いた営業利益は42万7000円となった。

対前年同期比をみると、売上高は(-)6.3%で、5期連続で減少した。また、営業利益は(-)4.3%で、4期連続で減少した。

図39 売上高及び営業利益の対前年同期比の推移 -サービス業-



(2) 設備投資

今期の1事業所当たりの設備投資額は3万6000円で、前年同期(5万7000円)を下回った。また、設備投資率は3.2%で、前年同期(4.7%)を1.5ポイント下回った。

図40 設備投資率の推移 -サービス業-

